

数物科学専攻	研究分野	代数学	Lab. ID MP01
研究室Webサイト			
研究課題の概要			
整数論, 保型形式, 表現論, 代数幾何, 可換環論などの研究をしています.			
博士前期課程/後期課程院生の指導方針、具体的なカリキュラム、研究室での活動等			
博士前期課程1年では、関連する分野の講義と、専門分野の教科書を題材とするセミナーを行います。博士前期課程2年では、修士論文のテーマを決めるとともに、そのテーマと関連するより専門的な教科書または論文を読んでもらうセミナーが活動の中心となります。博士後期課程では、主任指導教員とのセミナーを通して個人研究または共同研究を進めます。また研究集会や外部で開催されるセミナー等への参加が強く勧められます。			
研究室生活の紹介等			
個人で勉強することが基本です。自分にとって快適な場所(大学の院生室, 図書館, 自宅, その他)を見つけて、そこで勉強していただいて構いません。学生同士で議論することによって、理解できなかったことが理解できるようになったり、自分の理解がより深まることがあります。また、図書室には必要な文献はほとんどすべて揃えられていて自由に使うことができます。			
教員からのメッセージ			
大いに勉強して数学を楽しんでください。			
最近(過去3年間+必要に応じて)の修士論文題目			
修了年月	タイトル		
2017.3	単位 n 次元球面上の調和多項式		
2017.3	位数 30 以下の有限群の分類及びその指標表		
2016.3	Bhargavaの立方体と2次体の整数環のイデアル類		
2016.3	局所体上の ε エルミート形式と極大整格子		
2016.3	四元数環とフックス群		
2016.3	フェルマーの最終定理に対する古典的アプローチについて		
2015.3	保型形式の値の超越性について		
2015.3	完備局所環の構造について		
2015.3	正則局所環のいくつかの性質について		
2014.3	3次ユニタリ群上の保型形式の次元公式		
2014.3	トーリックイデアルのグレブナー基底による計算		
2014.3	グレブナー基底による自由分解の計算		
2014.3	Divisorial contractions to cDV points with discrepancy > 1 (食い違い係数が1より大きい混合デュバル特異点の因子収縮について)		
2013.3	Jacobi Hecke 環の構造について		
2013.3	符号 $(2,3)$ の直交群上の保型形式の空間の構造		
2013.3	位数2の点を持つ楕円曲線の有理点のなす群の具体的計算		
最近(過去3年間+必要に応じて)の博士論文題目			
修了年月	タイトル		
2017.3	Divisorial contractions to cDV points (混合デュバル特異点の因子収縮について)		
研究室連絡先メールアドレス		若槻聡 <wakatsuk *at* staff.kanazawa-u.ac.jp>	